魂のジュリエッタ（1964）

GIULIETTA DEGLI SPIRITI
JULIET OF THE SPIRITS［米］
JULIETTE DES ESPRITS［仏］

メディア	映画
ジャンル	ドラマ
製作国	イタリア／フランス
色彩	Color
時間	138分
初公開日	1966/11/19
公開情報	東和＝ＡＴＧ
リバイバル	1972/05［ＡＴＧ］ 2001/01［ザジフィルムズ］

【解説】

長らくモノクロに拘ってきた、いわゆる芸術派監督の初のカラー作品に共通してみられる色彩の強烈な主張が、このフェリーニの初カラー長編にもはっきりみてとれる。映画プロデューサーの夫を持って裕福だが、つつましやかなごく平凡な主婦であるジュリエッタ。結婚生活もうまく行っていると思っていた１５年目の記念日。酔って帰宅した夫はそれをすっかり忘れたフリをして、大勢の仲間を連れて祝う。二人きりですごそうと思ったのに大変賑やかになったその夜、客の中には霊媒師や占い女などもいて、彼女に不吉な予言をする。案の定、就寝中、夫が別の女の名を呼んだ。ジュリエッタは夫が浮気していると思うと気が気でない。興信所に調べさせると、なるほど、若い愛人の存在が浮かんだ。絶望に打ちひしがれるジュリエッタだったが、幼い記憶の去来に心をなごませる。隣家のスージーは、彼女の消極性が夫を不倫に走らせるのだと、浮気を奨励し、美青年を紹介するが、いざ、二人してベッドに入ると、聖女の出現に我にかえるジュリエッタだった。精神科医はそんな彼女が、内心では孤独を求めているのだと告げる。そこで彼女は、独りで生きる勇気を持つに至るのだった。

両性具有的な霊能者“先生”のヒッピー・コミューン的集会の描写など、神秘思想への傾倒が著しい、女性版「８1/2」とも言うべき幻想巨編。いわゆるフェリーニ的映像魔術の域を超えた、純粋に詩的なイメージがとりとめもなく、そしてきらびやかに展開し、物語や主張それ自体を浮遊して、官能的に訴えかけてくる。マシーナの魅力に因るところ大なのは、いつも以上。この後、彼女主演のフェリーニ作品は「ジンジャーとフレッド」までなく、彼の作家としてのピークもこの辺りまでで、以降はゆるやかに下降線をたどっていった気がしてならない。

【クレジット】

監督	フェデリコ・フェリーニ	Federico Fellini
製作	アルベルト・リッツォーリ	
脚本	エンニオ・フライアーノ	Ennio Flaiano
	フェデリコ・フェリーニ	Federico Fellini
	トゥリオ・ピネッリ	Tullio Pinelli
	ブルネッロ・ロンディ	Brunello Rondi
撮影	ジャンニ・ディ・ヴェナンツォ	Gianni Di Venanzo
音楽	ニーノ・ロータ	Nino Rota
出演	ジュリエッタ・マシーナ	Giulietta Masina
	サンドラ・ミーロ	Sandra Milo
	マリオ・ピスー	Mario Pisu

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

シルヴァ・コシナ	Sylva Koscina
ヴァレンティナ・コルテーゼ	Valentina Cortese
カテリーナ・ボラット	Caterina Boratto
フレデリック・レデブール	Frederich Ledebur

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.